

平成29年度水道技術基礎研修の実施結果について

目的	団塊世代の大量退職により水道事業に携わる職員の世代交代が急速に進み、実務経験の少ない職員が増えていることから、職員の知識・技術の向上を目的とした水道技術に関する研修会を開催する。		
<b>講義研修</b>			
研修概要	内容	講師	日時・場所・受講対象
	1 水道一般	公社職員	日時 平成29年10月19日(木)、20日(金) 会場 愛知県尾張東部浄水場 対象 愛知県営水道受水団体協議会会員 46名
	2 水処理と水質管理	公社職員	
	3 送配水管の耐震	日本ダクティル鉄管協会	
	4 耐震管の説明	日本ダクティル鉄管協会	
	5 酸素濃度計操作	公社職員	
	6 残留塩素測定	公社職員	
	7 漏水探知機操作	公社職員	
8 配水管理について	東海市職員		
アンケート結果	<b>【理解度】</b> 		<b>【役立ち度】</b> 
	感想 ・ 経験の浅い職員に対してちょうど良いレベルの研修 ・ 現場で使用する機器の実習は役にたった ・ 研修自体の時間が短い ・ 配水管理のように、経験談があると理解しやすい		
意見・要望	・ 「基礎研修」なので、ゆっくり講義を行ってほしい ・ スケジュールにもう少し余裕があった方がいい ・ 時間短縮した関係で講義の内容がわかりづらい ・ 実習の時間を多めにみて欲しい ・ 休憩時間・昼休憩が短めであった ・ スライド使用するなど視覚的な説明		・ 文字を大きくしたり、指示棒等を使用してほしい ・ 他市町村とのグループワークがあるといい ・ 資料に会場周辺の地図などがなく、不便だった ・ 近くに食べる場所がない等の旨をあらかじめ明記 ・ 必要数の駐車場を確保してほしい
	新規要望 ・ 災害時の対応方法等 ・ 漏水対応・バルブ操作 ・ 水質のクレーム事例・対応 ・ 管路設計に関する講義 ・ 海外の水事情における先進国と後進国の内容 ・ 県の水質検査方法・試験場所 ・ 設計図の作成、水量計算方法 ・ ポンプ設備、電気設備等講義 ・ 他地域の水道の歴史や現状 ・ 配管リ接合、漏水修繕等の実技講義 ・ バルブ操作や配管の実習 ・ 浄水場見学 ・ 仕切弁操作の講義 ・ 給水装置の仕組み		
研修状況	水道一般講義 	送配水管の耐震 	耐震管の説明 
	酸素濃度計操作 	残留塩素測定 	漏水探知機操作 
	まとめ ・ 講義研修はH25の試行を経てH26から継続しているが、今年度も好評だった。 ・ 今年度より、対象を全団体（過去は隔年）としたが、混乱がなかったため、今後も全団体とする。 ・ 過去のアンケートも含め、意見・要望を参考に改善していく。		
	今後予定	受講対象者 開催場所 開催時期	愛知県営水道受水団体協議会会員（42団体）の1～2名 愛知県水質試験所（愛知県東郷町大字諸輪字北木戸西48-265） 10月中下旬の2日間